

一般社団法人 日本医療機器学会  
2022年度第4回理事会 議事録

日 時：2023年3月31日（木）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2階 セミナーホール（東京都文京区本郷3-39-15）  
（会場+webの併用開催）

出席者：高階 雅紀理事長、林 正晃副理事長、

青木 郁香、東 竜一郎、植竹 茂、臼杵 尚志、加藤 伸彦、川本 武、久保田 英雄、  
小西 賢三、小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、高橋 典彦、中島 章夫、中野 壮陸、  
根本 裕司、深柄 和彦、福田 修一、松田 和久、松原 一郎、南 正人、美代 賢吾  
安原 洋、矢富 裕の各理事

新 秀直、本田 宏志の両監事

事務局：岩田 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子、池野谷 崇臣

定足数と出席理事の確認：定款第36条により理事25名の内過半数の25名が出席し、  
本理事会は有効に成立する旨の報告があった。（事務局）

## 1. 開会宣言 議事録の確認及び議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web併用会議）を宣した。

- 1) 本会の議事録署名人は定款第37条により理事長及び本日出席の新監事、本田監事である旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを承認した。
- 2) 2022年第3回（2022年12月16日開催）議事録の内容確認があり、出席者全員により確認された。

## 2. 委員会報告等

### 1) 総務委員会（林委員長）

#### (1) 2022年度事業報告と2023年度事業計画（案）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

#### (2) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員7名、功労会員0名、正会員6,174名、企業会員292社。前年同期比で名誉会員が2名減少、正会員が72名増加、企業会員が1名増加した旨の報告があり、出席者はこれを確認した。

#### (3) 企業会員・個人正会員の入会について（推薦者なし、個別承認分）

推薦無しの新規企業会員1名、推薦無しの新規個人正会員9名の入会依頼があり、審議の結果、出席者全員入会について異議なく承認した。

#### (4) 協賛・後援・共催依頼実績

資料に基づき、協賛依頼3件、後援依頼6件と報告され、出席者はこれを追認した。

#### (5) 褒賞制度：2022年度「功績賞」について

今年度の功績賞は推薦・申請共に無しとの報告があり、出席者はこれを承認した。

(6) 名誉・功労会員候補について

総務委員長より、資料に基づき、永年にわたり当学会活動及び運営に多大な貢献をされた、藤井 昭氏および菊地 眞氏 2名を名誉会員候補者(案)に、小野 哲章氏を功労会員候補者(案)として推薦があり、審議の結果、出席者全員異議なくこれを承認した。

(7) 海外渡航費補助規定について

現在の経済情勢等を踏まえ、現行の海外渡航費補助規程の見直しについて、次回の理事会に総務委員会より改訂案を上程する旨報告がなされた。

2) MDIC 認定委員会 (臼杵委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(2) MDIC 認定更新要件の変更

MDIC の更新基準変更について、3回の更新を終えた認定者については、既に MDIC 認定取得者として十分指導的な立場でのキャリアおよび実績を有していることから、4回目更新時のためのポイント取得を不要とする旨報告がなされ、一同これを承認した。

3) 将来構想委員会 (深柄委員長)

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

4) 編集委員会 (住谷委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同はこれを承認した。

(2) 褒賞制度:2022 年度「論文賞・著述賞」の選出の件

編集委員会より論文賞及び著述賞は選考の結果、以下候補が推薦され、議長より諮ったところ異議なく承認された。また、委員長より著述賞については毎年対象として1件しか選定できないが、論文賞と同じ2件以内としたい旨の報告がなされ、審議の結果、出席者一同これを承認した。

(論文賞) : 1 件

著書 : 藪島 由二、植松 美幸、宮本 優子、伊藤 嘉章、内藤 朋子、  
藤井慎二、高橋 裕一、迫田 秀行、岡本 吉弘、中岡 竜介

表題 : 「再使用可能および再製造医療機器の清浄性評価における新規残留タンパク質回収・定量法」

(著述賞) : 1 件

著者 : 加納 隆、廣瀬 稔

表題 : 「ナースのための ME 機器マニュアル 第2版」

(3) 投稿規定改訂

医療機器学投稿規定(執筆要領)についての規定改定について報告があり、投稿規定内の倫理規定に関する文章の修正をした旨の報告があり、出席者一同これを承認した。

(4) 「医療機器学」論文査読審査要領

「医療機器学」論文査読審査要領の改訂案が提示された。一番大きな改訂点は、査読の最終判断は査読者個人ではなく、編集委員長および編集委員会とすると変更したこと、また査読回数を原則2回を限度と定めることによって、投稿者の利便性向上と論文の質を高めるべく改訂を行ったとの報告があり、出席者一同これを承認した。

(5) 医療機器学投稿状況

資料に基づき、医療機器学投稿状況について報告がなされた。

5) 学術委員会（安原委員長）

2023年度研究・開発助成制度募集結果と審査結果について

研究・開発助成制度に2件の募集があり、以下の候補が学術委員会より推薦され、議長より諮ったところ異議なく承認された。

（申請者）： 加藤 孝昭

（テーマ）： 「簡易的な加温加湿測定器の開発」

（条件）： 研究報告(成果)を定期大会または本学会誌で発表

尚、研究・開発助成規定については、より分かりやすい内容に今後見直しする予定であることが報告された。

(1) 安全対策委員会（南委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加納委員長代理 中島委員）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

【臨床ME 専門認定士合同認定委員会】（加納委員長代理 酒井委員）

2022年度臨床ME 専門認定士（新規・更新）認定の件

資料に基づき、2022年度の臨床ME 専門認定士新規申請者55名、更新申請者120名の合計175名が承認された。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長代理 高階委員）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。また、「滅菌管理(トレーサビリティ)システム白書」作成のため現況調査を行い、2023年度はその第2版作成に向けた準備を進める旨報告がなされた。

(5) メンテナンスマニュアル出版委員会（上寺委員長代理 高階委員）

同委員会の事業報告が資料に基づき説明され、今後、黄本・赤本の邦訳版の必要性が発生したら委員会活動を再開することとし、同委員会の活動を2022年度で一旦終了する旨の報告がなされ、出席者一同これを了承した。

6) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。尚、WFHSS2022はCOVID-19やウクライナ情勢もあり会議に出席できなかったが、WFHSS2023は情報収集と国際交流を目的として同委員を派遣する旨の報告がなされた。

7) 広報委員会（久保田委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認

した。学会ホームページの改善や学会パンフレットのデザイン作成を行い、今後は SNS 等の活用方法も検討していく旨報告がなされた。

## 8) 国際委員会（青木委員長）

(1) 資料に基づき説明があり、AAMI 年度大会 2023(カリフォルニア・ロングビーチ)では JSMI 教育セッションを 2 つ計画し、現地での交流のみならず JSMI としての発表活動を推進していく旨の報告がなされた。また、AAMI2023 年度登録メンバーについては、参加希望・脱退希望者は、4 月中旬迄に事務局宛て連絡するよう要請され、出席者一同これを了承した。2023 年度 AAMI 登録メンバーについては、次回理事会で審議・承認する旨報告がなされた。

(2) AAMI exchange 2023 について

2023 年 6 月 16 日～19 日で開催される具体的な JSMI 教育セッションは下記 2 つを予定している旨報告がなされた。

(セッション 1 1h)

主題 : 「How VR and AR Can Help in a Study Support for Medical Equipment」

演者 : 笠井 亮佑(PhD, CCE)

(セッション 2 1h)

主題 : 「Towards standards for sterilization in Healthcare Setting」

演者 : 深柄 和彦(PhD, MD) 水谷 光(PhD, MD)

(3) 2023 年度 AAMI 参加費用負担及びメンバーシップの希望・推薦について

委員長より、今回 AAMI に複数の方が 2 セッションに登壇するという事で 9 名参加を予定しており、学会で渡航費用の負担を検討いただきたいとの要請がなされた。理事長より、理事長は今回国際委員会という立場では出席せず、AAMI 側の理事長が最近交代したこともあり、理事長同士の情報交換を目的に訪問するので、理事長の渡航費用については管理費の中から出すことを承認いただきたいとの要請がなされ承認された。また、理事長より、現状は現行の渡航補助規定が有効であり、今回座長・演者および国際委員会メンバーが AAMI 関係者と情報交換・交流を目的に訪問するのであれば、現行の渡航規定に照らして費用補助されるのが共通認識であり、総務委員会での海外渡航規定がどの様に見直されるかによるが、6 月の AAMI 訪問に間に合うよう 4 月の理事会で決着して貰い度旨要請があった。一方、渡航補助規定改訂については必要あるものの、少なくとも演者や座長等、現地セッションに直接関与する方に渡航補助を行うという、どういう目的・役割で訪問する方に渡航補助を行うかの方向性を規定に明示すべきとの意見が出された。それらを踏まえて、次回の理事会までに、改めて総務委員会での渡航費用補助規定の見直し案を検討する。

### [ISO/TC198 国内対策委員会]（東委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

## 9) 医療機器 UDI 標準化委員会（酒井委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認

した。また、手術用鋼製器具を取り扱っている製造販売業者に対して再度アンケート調査を実施する他、生命維持管理装置を対象とした製造販売業者が医療機器本体GS1-128 バーコード表示の実施状況とその必要有無についてアンケート調査を実施する旨の報告がなされた。また、理事長より、標準化を目指す委員会であることから、これらのアンケートの結果が次の標準化に繋がるように来年度の活動を進めて貰い度い旨要望がなされた。

#### 10) 事業体部会（松原部会長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。
- (2) 第98回大会併設展示会準備状況等について  
現状展示60社(129小間)の申し込みがあること、また公開セミナーは3セッションを予定している旨報告がなされた。
- (3) 受託展示の実績推移及び今後の受託展示の方針について  
受託展示は、本年度4件の実績と次年度は3件を見込んでいる。また、受託展示の取扱いについては縮小方針とし同委員会として代替えの収益母体を検討していく旨報告がなされた。

#### 11) 関係団体

- (1) (一財)日本医科器械資料保存協会（事務局）特に無し
- (2) 日本医学会（高階理事長）
  - ① 評議員（担当 高階理事長）
  - ② 連絡委員（担当 南理事）
  - ③ 用語委員（担当 深柄理事）
  - ④ 用語代委員（担当 住谷理事）特に無し
- (3) (公社)日本臨床検査標準協議会 副会長（矢富理事）  
特に無し
- (4) (公財)医療機器センター 理事（高階理事長）  
特に無し

#### 12) 財務委員会（福田委員長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。
- (2) 2022年度決算見込みについては、前年比で増収・減益を見込む旨報告がなされた。
- (3) 2023年度予算案については、収入について前年予算比同等の207百万円、予備費として1.5百万円見込んでいる旨報告がなされ、出席者一同これを承認した。

#### 13) 利益相反委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。また、日本医学会のCOI管理ガイドラインの改定(2022年3月)に伴い、編集委員会と連携しながら当会のCOI細則の見直し及び改定の検討を引き続き行う旨報告がなされた。

14) 倫理委員会 (高橋委員長)

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。日本医学会連合より「学術集会への演題募集における倫理的手続きに関する指針」の改正が出されたので倫理委員会で検討する旨報告がなされた。

15) 滅菌管理業務検討委員会 (深柄委員長)

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

16) 100周年記念事業実行委員会 (安原委員長)

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。式典演者もほぼ確定し7月には招待状を発送予定で、記念誌については12月下旬頃の発行を予定している旨報告がなされた。

3. 役員選挙結果 (選挙管理委員会 林委員長)

2023・2024年度役員選挙 選挙管理委員会(第2回)議事録より、S系理事選挙の開票と結果については、以下の通り報告がなされた。

投票総数 93 通(有権者数 114 名、投票率 82%)

当選人(五十音順)

臼杵 尚志、江島 豊、加藤 伸彦、久保田 英雄、住谷 昌彦、高階 雅紀、  
中島 章夫、深柄 和彦、南 正人、安原 洋

(S系推薦理事4名、役員選任細則第2条(2)に基づく)

長瀬 清、市橋 友子、美代 賢吾、山浦 健

(C系選挙理事11名)

青木 郁香、東 竜一郎、植竹 茂、川本 武、小西 賢三、中野 壮陸、根本 潤、  
根本 裕司、林 正晃、福田 修一、松原 一郎

(監事2名)

新 秀直、本田 宏志

4. 第98回大会及び今後の学会大会開催予定

1) 第98回大会 (2023年6月29日～7月1日：パシフィコ横浜) (深柄大会長・事務局)

(1) プログラム準備状況等

学会会期中(6月29日～7月1日：パシフィコ横浜)のプログラム概略について説明がなされた。

(2) 大会収支予算 (承認)

学術集会での参加人数を、第98回大会参加人数2100名を基礎に算出し、ランチョンセミナーは本日現在4社のみの参加となっている。支出についてオンデマンド配信費用見直し等を行うも学術集会の収支は△5.9百万円を見込む(その後ランチョンセミナー4社追加となり2百万円収支改善)。展示については、61社136小間の参加予定で収支は6.0百万円を見込み、学術・展示合わせて0.2百万円程度の黒字を見込んでいる旨報告がなされ、出席者はこれを承認した。

2) 第99回大会 (林大会長) (2024年6月20日～6月22日：パシフィコ横浜)

特に無し

### 3) 第100回大会（：パシフィコ横浜）

#### (1) 大会長選出の件（承認）

理事長より、第100回大会の大会長に加藤 伸彦理事の推薦が示され、審議の結果一同これを承認した。

## 5. その他

### 1) 代議員の定数増について

理事長より、定款第4章第12条に代議員の定数は「100名以上120名以内とする」と定められているが、代議員定数を増やすことを検討したい旨提案された。現代議員定数は本会の会員規模が4～5千人程度の時に決定された定数であり、当学会に適正な代議員数について検討を進め、次回の理事会にて具体的な数値を決め、代議員の定数変更について審議したい旨報告がなされ、出席者一同皆了承した。

## 6. 閉会宣言（理事長）

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が17時15分閉会宣言をした。

以上

（議事録署名人）

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事2名がこれに署名する。

2023年3月31日

議事録署名人

（高階 雅紀理事長）

議事録署名人

（新 秀直監事）

（本田 宏志監事）